

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

2024 年度年間聖句

「常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば、主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」
(箴言 3 章 6 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時
祈 禱 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第 3・午後 2 時)
●夕の祈禱会
(第 2、第 4・午後 7 時)

牧 師 井 殿 準
協力牧師 堂 本 陽 子
協力牧師 井 東 炤

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3
FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

3104 2024 年 4 月 21 日

礼拝式順序

(復活節第 4 主日)

	司式者	井 殿 準	
	奏楽者	岡 野 和 美	
前 奏			奏 楽 者
招 詞	詩編 103 : 1 ~ 5		司 式 者
讃 美 歌	1 1 「感謝にみちて」		一 同
聖 書	ヨハネ 2 1 : 1 5 ~ 2 5 (新 P. 211)		司 式 者
祈 禱			”
讃 美 歌	4 0 6 「聖霊ゆたかに」		一 同
説 教	「偏りのない愛」		司 式 者
祈 禱			”
讃 美 歌	4 8 1 「救いの主イエスの」		一 同
献 金			”
主の祈り	(9 3 - 5 - A)		”
頌 栄	2 8 「み栄えあれや」		”
祝 禱			司 式 者
答 唱	4 0 - 6 「アーメン」		一 同
報 告			司 式 者
讃 美 歌	9 2 「主よ、わたしたちの主よ」		一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「主に愛された魚たち」

(ヨハネ 21 : 1 ~ 14)

ヨハネ 20 章 21 節以下において、復活した主イエスは弟子たちに対して、「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす」と告げ、「聖霊を受けなさい」と言って彼らに息を吹きかけている。こうして弟子たちは宣教の業に遣わされたと思いきや、今日の聖書の箇所では弟子たちはガリラヤ湖で漁をしている。宣教活動を行いながら、食べ物を得るために漁をしていたとも考えられるが、ここにはもっと象徴的な意味が隠されていると考えるべきであろう。

今日の聖書の箇所の物語は、ペトロたちが弟子とされた時を彷彿させる (ルカ 5 章)。ルカの物語と同様、「網を打て」との主イエスの言葉に従った彼らは、網が破れそうになる程に魚が獲れるのを目の当たりにする。ペトロたちは、魚を獲る漁師から「人間をとる漁師」とされていたが、ヨハネはこの物語を通して、主により頼むことをしないで (人間の思いや努力だけで) 伝道しようと思っても、どうにもならないことを伝えようとしているのであろう。また、物語を通して我々は、主に結ばれている時、我々の労苦は決して無駄には終わらないことも教えられる (1 コリ 15 : 58)。

11 節には、網が破れなかったことが、「それほど多くとれたのに」と驚きをもって記されている。教会の中には多種多様な数え切れない程の「魚たち」がいる。それでも網 (教会) は決して破れることはないのだ。網に捕らえられた魚たちは皆、どれも不完全であり、それぞれ破れ多い者たちであるが、皆、主に造られ、主に愛された魚たちである。時に、我々は、魚同士で批判し合い、「あの人はこの網にはふさわしくない」「この網の中に置いておくべきではない」「でないと網が破れてしまう」等と考えるが、網から失われてよい魚は一匹としていない。皆、網の中に居て良いのだ。それでも、決して網は破れない。何と幸いなことだろう。我々は、この幸いを心に覚えつつ、「舟の右側に網を打ちなさい」との主の御言葉に心えて、ここに友を招く者となろうではないか。